

前立腺癌に対する重粒子線(炭素イオン線)治療を受けられた皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、前立腺癌に対する重粒子線（炭素イオン線）治療を行っています。その安全性や有効性については多くの場で報告をされていますが、今後も検討が必要な状態です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 前立腺癌に対する炭素イオン線治療における金マーカーおよびハイドロゲルスパーサー留置の安全性と有効性の検討

[研究実施期間] 許可日～2030年12月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院

[研究責任者] 岡東 篤

[研究の目的] 前立腺癌に対する重粒子線（炭素イオン線）治療の前に留置する金マーカーおよびハイドロゲルスパーサーについて、その安全性と有効性を検証します。

[研究の方法] 下記の情報を収集し、データ解析を行います。

●対象となる方々

2018年4月以降、2025年8月までに前立腺癌に対して重粒子線治療を受けた方。

●利用する情報

年齢、全身状態、自覚症状、既往症、前立腺癌診断方法、病理学的所見、臨床病期、ホルモン療法施行期間、血液所見、重粒子線治療内容、金マーカー留置の有無、スパーサー留置の有無、治療反応性、予後情報

※必要に応じて、実施期間終了時までには得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた個人情報は、個人名等を削除し、カルテIDのみを残した状態で管理し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととします。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2026年3月31日までに、下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。研究機関の長の許可日以降に解析を行います。2026年3月31日まではお申し出があれば、データを取り除きます。それ以降であってもお申し出があれば、できる限り取り除きますが、データ解析に使用して個人情報と切り離されてしまった診療情報は取り除けないことがあります。その場合でも、個人情報が表に出ることは一切ありません。

[問い合わせ先：窓口]

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 治療診断部泌尿生殖器腫瘍課 岡東 篤

電話：043-206-3306（平日9：00～17：00）